

地域課題対応型EMSサービス実証事業ビジネスモデルの公募開始について

神奈川県では、エネルギー・マネジメント・システム（EMS）の導入を促進するため、EMSを活用して、地域の住民のニーズに即したサービスを提供するビジネスモデルを公募することにしたのでお知らせします。

1 EMSを活用したサービス

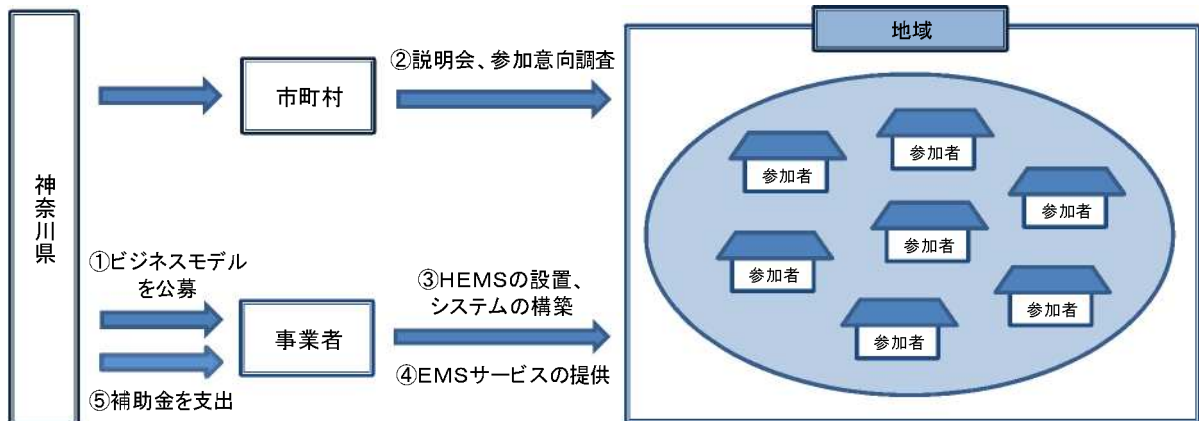
住宅では、HEMS（Home Energy Management System）の導入により、エネルギーの使用状況が「見える化」されるだけでなく、今後は、HEMSを通じて把握した電力使用量等のデータを活用し、節電のアドバイス等を行うエネルギー管理サービスや高齢者の見守り等の生活支援サービスなどが普及すると見込まれており、こうしたEMSサービスが普及すると、HEMSの導入が更に加速します。

2 ビジネスモデルを公募する理由

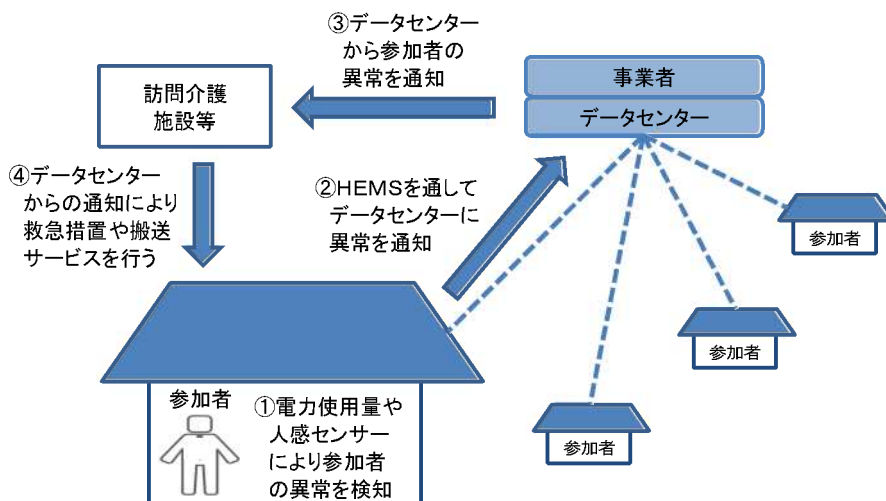
EMSサービスが広がりを見せていないのは、サービスの提供には、EMSをネットワーク化してデータを管理するシステムの構築が必要になりますが、住民が求める「サービスの範囲や水準」、サービスの「利用料金の許容範囲」などが見極められないため、企業が投資に踏み切れない状況にあるためと考えています。

そこで、特定の地域を対象としたEMSサービスのビジネスモデルを公募し、その実施を支援することにより、「サービスの範囲や水準」及び「利用料金の許容範囲」などを実証し、ビジネスモデルの普及を図ることにしました。

<地域課題対応型EMSサービス実証事業のスキーム>



<生活支援サービス（高齢者の見守り）のイメージ>



3 ビジネスモデルの実施地域と地域課題

市町村を対象に公募した結果、綾瀬市と大井町から応募があった次の地域において、提供するEMSサービスのビジネスモデルを公募します。

なお、EMSサービスは、エネルギー管理サービスと地域課題に即した生活支援サービス等の両方を提供することとします。

また、EMSサービスは実証を目的としていることから無料とし、提供を受ける住民は、ビジネスモデルの説明会を開催した後に参加意向調査を行い、希望者から選定します。

(1) 綾瀬市早川城山1丁目～5丁目（早川自治会）

ア 地域課題

新興住宅地で、自治会から防犯サービスと児童の見守りサービス等を求められています。

イ 参加想定戸数

50戸程度（地域の住宅戸数：1,198戸）

(2) 大井町金子地区のうち市場自治会、新宿自治会、河原自治会の地域

ア 地域課題

既存住宅地で、自治会から高齢者世帯の見守りサービスと健康管理サービス等を求められています。

イ 参加想定戸数

50戸程度（地域の住宅戸数：1,900戸）

4 補助金の概要

公募して選考したビジネスモデルの実施を支援するため、提案した事業者を対象に、補助金を支出します。

□補助率：ビジネスモデルの実証に要する費用の1/3

□補助限度額：（1地域）800万円

5 公募するビジネスモデル（事業計画書）の内容

- ・事業者の概要（名称、所在地、資本金、従業員数、事業実績等）
- ・エネルギー管理サービス及び地域課題に即した生活支援サービス等の内容と提供方法
- ・EMSサービスの満足度や利用料金の許容範囲等を把握する方法

※ 公募要領は、スマートエネルギー課のHPからダウンロードできます。

URL：<http://www.pref.kanagawa.jp/div/0503/>

6 公募・選考スケジュール

(1) 事業計画書の提出

平成26年3月27日（木曜日）から4月16日（水曜日）17時まで

(2) 事業者への説明会

ア 日時

平成26年3月31日（月曜日）11時から12時まで

イ 会場

神奈川県庁本庁舎大会議場（横浜市中区日本大通1）

（事前申込みは必要ありません。直接会場にお越しください。）

(3) 選考結果公表（予定）

平成26年5月1日（木曜日）

(問い合わせ先)

神奈川県産業労働局

産業・エネルギー部スマートエネルギー課

課長 松浦 電話 045-210-4130

グループリーダー 城戸 電話 045-210-4115